

米価下落等に対する農家経済対策をどうする



録画を配信

町長 水稻種子の購入費用等に助成したい



金田 悟議員

白鷹町としての支援

問

米価下落による稲作農家への支援をどうするか。

町長

この苦境を乗り越え、来年度以降も継続して稲作に取り組んでいただけるよう、次期作に向けた水稻種子の購入費用・生産資材費用への助成を実施したいと考えている。

農林課長

支援策の制度設計については、近隣の市町の情報収集を行うなど、検討した結果、10アール当たり種子代千円、生産資材代千円、合計2千円の支援を実施したい。

生産者からの要望は

問

生産農家・生産団体とのような話し合いがなされたのか。どのような要望があったのか。

農林課長

農業委員会からの意見書の提出、稲作生産者と町長との懇談会を開催した。

登熟不足、いもち病の発生、そして概算金の下落となり、今後の経営に不安を抱いているとのことであった。多くの農家に支援が行き渡るようなものがあったらほしい、次年度の再生産に向けた支援

が望ましいとの話があった。

※収入保険等の加入状況

問

農家収入をカバーすることができ収入保険及び※ナラシ対策の加入状況はどうなっているか。

農林課長

収入保険は13・5%で、県全体及び置賜と比較しても低い状況である。

また、ナラシ対策は認定農業者等が対象となり、加入者数は48件（57・8%）で、面積では302ヘクタール（39・4%）である。

問

収入保険の加入率が極端に低い。その理由をどのように把握しているか。

農林課長

基準収入が全額補償されないこと、補償内容を上げれば保険料が高くなることなどから、様子を見ている方が多いと聞いている。



町長

収入を補償する制度は複数あるが、もう少しわかりやすい保険制度にしていくべきと思うし、要望もしていきたい。

転作の重点作物振興

問

枝豆団地化計画の進捗状況はどうか。

農林課長

作付面積の拡大（42ヘクタール）と反収の向上は達成したが、販売単価の下落により、販売額1億円の達成には至らなかった。

問

次年度の生産調整を達成するため、枝豆の振興方針をどう考えるか。

農林課長

枝豆部会の会議で、販売額1億円を目指していくこととする。しかし、新たな拡大は慎重にならざるを得ないと思う。

町長

白鷹町の枝豆部会は相当努力なされてきたと認識し評価したい。コロナが落ち着けば、素晴らしいものになると思っている。

※「収入保険」

全ての農畜産物を対象に、自然災害による収量減少や価格低下など、農業者の経営努力では避けられないさまざまなリスクによる収入の減少を補償する制度。

※「ナラシ対策」

対象品目（米・麦・大豆）の販売収入の合計が、標準的収入を下回った場合に、その差額の9割を国からの交付金と農業者の積立金で補てんする制度。